

山東師範大學  
碩士研究生入學考試試題  
(2015年)

考試科目名稱：基礎日語

試題編號：713

- 注意事項：1. 本試卷共三道大題（共計 20 個小題），滿分 150 分；  
2. 本卷屬試題卷，答題另有答題卷，答案一律寫在答題卷上，寫在該試題卷上或草紙上均無效。要注意試卷清潔，不要在試卷上塗劃；  
3. 必須用藍、黑鋼筆或圓珠筆答題，其它均無效。

\*\*\*\*\*

問題一 読解 (60 点)

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(35 点)

古生代から、絶滅した生物を考えてみると、その時代時代の高等な生物から滅びていることがわかる。三葉虫は甲殻類の頂点にあったものだし、恐竜は爬虫類のチャンピオンだった。それに対して、プランクトンとかバクテリア、①微生物などの下等生物は、七億年もの長きにわたって、種としての生命を長らえている。

現代の高等生物のナンバーワンは人類であるから、地球の現環境が危機に直面したとき、まっさきにやられるのは人間であろう。それも、過密状態にある都市部の人間からということになりそうである。

高等動物の弱さは、その繁殖能力の弱さにもある。下等動物はライフサイクルが短く、子孫が多い。(A)、環境がかなり急速に変わっても、それに適応できる変種を産み、それによって種を存続させることができる。たとえば、人間がいかに強力な薬品を發明しても、ほどなくしてそれに対する耐性を持つ菌が生まれてくることなど、その好例である。

最近では、あらゆる生物のウィークポイントであると思われていた放射能に対する耐性を持つ微生物すら発見されている。それも、②時間単位、日単位で世代が代わる微生物ならではのことである。

平常時には上位のもの、中心部のものほど強いが、危機の時代にはその逆になるということは、人間社会にも当てはまる。庶民は革命を恐れない。(B)、革命によって首がチョン斬られるのは、常に上位のもの、中心部のものでしかないからだ。庶民はいかなる時代変動にも適応することができる。それができないのは、貴族やインテリである。

アリの一種で、奴隷アリを使用して生活をたてている貴族アリがいる。奴隷アリは、貴族アリの巣の世話から、食事の準備までしてやる。この社会から、奴隷アリだけをとりつけてしまう。すると、残された貴族アリは、目の前に食物源があっても、それをどうしてよいかわからず、飢え死にしてしまうのである。

平常時には、が強く、危機の時代にはのほうが強いということは、ゼネラリストとスペシャリストの優劣比較にそのまま通じる。

ひころ、③スペシャリストの時代といわれ、スペシャリストがもてはやされたことがあった。( C )、スペシャリストは、その専門領域が時代の要請一致しているときは強い。しかし、④そうでなければ、無用の長物である。危機の時代、変動の時代には、専門家よりも環境変化に  に対応できるなんでも屋のほうが強いのである。

(立花隆『エコロジー的思考のすすめ』より)

問一、空欄A～Cに入る適語を選べ。

- ①しかし      ②たしかに      ③だから      ④なぜなら

問二、空欄I・IIに入る表現を選べ。

- ①適応範囲を限ることによって適応度を高めたもの  
②適応度は低くとも、適応範囲の広いもの  
③適応範囲を広げ、その上適応度も高めたもの  
④適応度が低い上に、適応範囲も狭いもの

問三、空欄IIIに適切な四字熟語を入れよ。

問四、本文に次の文を入れたい。どこに入れるのがよいか。直前の文の最後の五字で示せ。(ただし、句読点は含まない。)

終戦直後、ヤミで食糧を手に入れることができず、配給だけに頼ろうとした結果、ついに栄養失調で死んでしまった裁判官の話の思い起こさせる。

問五、傍線部①のように言うのは、「下等生物」にどのような特徴があるからか。文中の語句を用いて二十五字以内で説明せよ。

問六、傍線部②「時間単位、日単位で世代が代わる」と同じ内容を述べた箇所を抜き出せ。

問七、傍線部③スペシャリストと「貴族やインテリ」との共通点を十字以内で説明せよ。

問八、傍線部④「そうでなければ」を、指示している内容をふまえて言い換えよ。

問九、本文の主旨に合うものを、次から選べ。

- ①我々は専門性を高め時代の真実を見極めるべきだ。  
②危機の時代には庶民的対処が必要である。  
③我々は多くの子孫を残さねばならない。  
④微生物をもっと研究すべきである。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

一定の集団型のもものと接し、話し合いをするような場合に、誰もが口にするのは、「」ということである。集団の(ア) ケツソクがかたく、機能が低いほど、集団の個人に対する社会的強制は強くなる。いいかえれば、それだけ個人の自由な志向・行動を規制してくるのである。

①こうした絶えざる運動の結果、一定の集団の構成員のパーソナリティが非常に似てくるといふ現象がみられ、また、似たようなパーソナリティの人々が集団を構成するという現象が見られる。実際、日本社会においては、特定の主義とか思想を旗印にしている集団の人々が、(イ) ルイケイ的に同じようなパーソナリティを持っていることが指摘できる。

そして、各々のグループは、主張する主義とか思想に論理的には無関係の、一種の②くさみをもっているのがつねであり、本質的にその主義・思想自体に共鳴していても、そうしたパーソナリティを持ち合わさなければ、そのグループの成員となることは困難である。

また一方、そのグループの(ウ) 標榜する主義にまったく異議がなく、そのためにこそ、その集団にはいつても、そうした本質的なことに関係しない、ささいな事件によって、意見を異にし、往々にして感情的不一致が明白になったりすると、村八分にあったり、グループから脱落することを迫られたりする。

したがって、日本においては、どんなに一定の主義・思想を③錦の御旗としている集団でも、その集団の生命は「その主義(思想)自体に個人が忠実である」ことではなく、むしろお互いの B 自体にあるといえよう。

ここでも宗教と同様、④主義・思想は、日本社会にあっては後退を余儀なくさせられている。堂々と世界に誇りうるような、また、他の社会の人々に大きな影響を与えるような偉大な宗教家・哲学者が、いまだに日本から一人も出ていないという事実は、この日本の社会構造と無関係ではなさそうである。

このように考察してみると、日本人の価値観の(エ) コンティには、絶対を設定する思考、あるいは論理的探求、といったものが存在しないか、あるいは、あってもきわめて低調で、その代わりに直接的、感情的人間関係を前提とする相対性原理が強く存在しているといえよう。

(中根千枝『タテ社会の人間関係』より)

問一、文中波線部(ア)～(エ)の片仮名を漢字に、漢字はその読みを仮名で書け。

問二、文中空欄 A に入る最も適当な言葉を、次の中から選び、記号で答えよ。

- ①一人ひとりが意見を持っていなければ、
- ②集団の長の意見を聞いておかなければ
- ③われわれの意見をまず統一しておかなければ
- ④他のものの意見を知っておかなければ

問三、文中下線部①「こうした絶えざる運動」とはどういうことか。本文中の語句を用いて25字以内で説明せよ。

問四、文中下線部②「くさみ」は、何を指しているのか。本文中から抜き出せ。

問五、文中下線部③「錦の御旗としている」とは、どういうことか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えよ。

- ①集団内だけで自分たちの主張は絶対的に信奉しなくてはならないものだとしている。
- ②自分たちの主張のよりどころであり、他に対して主張を権威づけるものとしている。
- ③自分たちの主張には大義名分があり、どんなことでも主張できるとしている。
- ④官軍の標章として用いられたため、自分たちの主張が公のものであるとしている。

問六、文中空欄 B に入る最も適当な言葉を、本文中から漢字4字で抜き出せ。

問七、文中下線部④について、なぜこのようなことが起こるのか。説明せよ。

## 問題二 翻訳 (50 点)

### 一、次の中国語を日本語に訳しなさい。(20 点)

提起晩秋，总不免生起凄清悲凉之情……满地的落叶、满树的枯枝、满目的苍凉。然今日则不然，昭和纪念公园给我上了一课：秋色不贫，其魅也夺秀。耀着淡淡金光的银杏树列队成行；满地的落叶犹如为迎接宾客而特铺的金色地毯，虽不华丽，却略感贵气。更让我直至此时都还沉醉的是那似火样般红得热烈的枫叶。我在想，莫不是西风酿造的秋酒被枫偷偷地饮了个饱，要不此枫怎会这等的彤红。故人杜牧曾有诗句“……，霜叶红于二月花；”今日我也喝了这“秋酒”斗胆说句不知羞不知耻的话：“敢与春鲜争娇艳”。

### 二、次の日本語を中国語に訳しなさい。(30 点)

(1) 親譲の無鉄砲で小供の時から損ばかりしている。小学校に居る時分学校の二階から飛び降りて一週間ほど腰を抜かした事がある。なぜそんな無闇をしたと聞く人があるかも知れぬ。別段深い理由でもない。新築の二階から首を出していたら、同級生の一人が冗談に、いくら威張っても、そこから飛び降りる事は出来まい。弱虫や一い。と囃したからである。小使に負ぶさって帰って来た時、おやじが大きな眼をして二階ぐらいから飛び降りて腰を抜かす奴があるかと云ったから、この次は抜かさずに飛んで見せませと答えた。

親類のものから西洋製のナイフを貰って奇麗な刃を日に翳して、友達に見せていたら、一人が光る事は光るが切れそうもないと云った。切れぬ事があるか、何でも切ってみせると受け合った。そんなら君の指を切ってみると注文したから、何だ指ぐらいこの通りだと右の手の親指の甲をはすに切り込こんだ。幸ナイフが小さいのと、親指の骨が堅かったので、今だに親指は手に付いている。しかし創痕は死ぬまで消えぬ。

(2) 五月晴れということばは、昔は旧暦で梅雨の中休みの晴れ間をさしていたという。今は新暦で五月初旬の、たとえば鯉のぼりの勢いよく泳いでいる晴天をさすようだが、そのいずれにも、私は秋晴れとはちがったものを感じず。五月晴れには秋晴れにない予感のようなものがある。

秋晴れはそれ自体で充足していて、あとにはもう何も残っていない。からっと晴れあがったという、そのからっぽな感じにむしろすがすがしさがあるのだが、五月晴れにはそういう底ヶ抜けたような安心がない。かすかないらだちといわれのない希望がある。

梅雨という薄暗い季節をぬけて、その先に夏がある、そのことへの期待や欲望がそんな感情を呼びさますのはたしかであるが、同時にそのいらだちや希望は、もっと形のないものにも向っていると私は思う。日時はややずれるけれどもそれをキリストの復活に結びつけ、派手な帽子で発散してしまう人々ともいるわけだが、私にとってはその表現は何であろうとその中心は、自分一個のこの生きている肉体に帰ってきそうである。すなわちそれは私という一個の生物の生命欲のようなものに結びついている。それゆえにそれは、自分に発し自分に帰る一種自己中心的な息苦しさを伴うのである。

## 問題三 作文 (1500 字前後) (40 点)

情報化社会と若者